IV 新規開設した施設

令和5年度以降に新規開設した施設 ※千葉市、福岡市は該当なし

札幌市

事業名	札幌市動物愛護管理センター		事業年度(期間)	令和2年度～令和5年度
施設名	札幌市動物愛護管理センター (あいまる さっぽろ)		開設年月日	令和5年11月13日
敷地面積	2,000 m ²		建築面積	776.22 m ²
			延床面積	1,073.22 m ²
規模・構造	木造地上2階建			
総事業費(千円)	853,575		(令和2年度～令和5年度)	
	うち、建設費		809,579	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	106,302	
		地方債	634,000	
		その他	0	
	一般財源		113,273	
設置目的	<p>○従来、本所(事務機能)と支所(動物収容施設機能)の二所体制だったところ、これらを市の中心部に統合し市民の利便性向上を図るとともに、収容動物の福祉向上や適正譲渡の促進を目指し動物収容・譲渡機能を強化する。</p> <p>○動物愛護管理等に関する市民の学習と交流の拠点として、本市が掲げる「人と動物が幸せに暮らせるまち・さっぽろ」の実現に向けた取り組みを行う。</p>			
施設概要	<p>○動物の適正飼育に関する普及啓発の拠点となる施設として、適正な譲渡、また市民が集い学び交流する場として活用。</p> <p>○猫が楽しく遊ぶことのできる収容室や多目的ホールを設置。また動物の運動用となる運動場や市民向け講義を行う運動場、また健康確認のための処置検査室も用意している。</p> <p>○主体構造に道産木材を使用するとともに、あたたかみを感じられるよう木造かつ楕円形の施設構造としている。</p> <p>○省エネに特化し、札幌市の市有施設として初のZEB ready認証施設。</p>			

仙台市

事業名	公文書館整備		事業年度(期間)	平成30年度～令和5年度
施設名	仙台市公文書館		開設年月日	令和5年7月3日
敷地面積	2,449.90 m ²		建築面積	948.62 m ²
			延床面積	3,698.45 m ²
規模・構造	地上5階 鉄筋コンクリート造			
総事業費(千円)	699,237		(平成30年度～令和5年度)	
	うち、建設費		551,838	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	535,600	
		その他	0	
	一般財源		163,637	
設置目的	歴史的公文書等を適切に保存し、及び市民の利用に供するため、公文書館法(昭和六十二年法律第百十五号)第五条第一項の規定に基づき、設置			
施設概要	<p>公文書館法に規定する公文書館として、また「仙台市公文書等の管理に関する条例」に基づく施設として設置</p> <p>(1)歴史的公文書等を保存し、一般の利用に供すること (2)歴史的公文書等の保存及び利用に関する調査研究を行うこと (3)歴史的公文書等の普及活動に関すること、の3点を主な業務内容としている。</p> <p>施設には閉校した小学校校舎を改修して活用。元々教室だった部屋に内壁を設置し、日光や外気を遮断し書庫として利用している。主要設備は閲覧室、展示室兼セミナールーム、荷解室、作業室、書庫(2～4階)等。</p> <p>展示室では歴史的公文書等のレプリカやパネルを展示しており、市政施行から政令市指定までの仙台市のあゆみ等について見学することができる。また、ホームページにて公開している目録システムを使い資料を検索し利用請求することで、歴史的公文書等の閲覧や写しの交付を受けることができる。</p>			

さいたま市

事業名	療育センター整備・管理運営事業		事業年度(期間)	令和3年度～令和5年度
施設名	さいたま市療育センター ひなぎく		開設年月日	令和6年2月1日
敷地面積	3,475.67 m ²	建築面積	1,107.16 m ²	
		延床面積	1,933.61 m ²	
規模・構造	地上2階・鉄筋コンクリート造			
総事業費(千円)	689,354		(令和3年度～令和5年度)	
	うち、建設費 ※建設費は、中規模修繕及び施設整備にかかる費用		685,209	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	513,600	
		その他	171,609	
	一般財源		4,145	
設置目的	障害児の早期発見、早期療育により、さらなる療育体制の充実を図るため、市内3か所目となる療育センターひなぎくを新たに開設したもの。			
施設概要	施設名称:さいたま市療育センターひなぎく 所在地:岩槻区府内1-8-1 診療日:月曜日～金曜日(祝休日、年末年始を除く)【予約制】 診療時間:9時00分から12時00分まで 13時00分から17時00分まで 診療科目:●小児科●整形外科●リハビリテーション科 外来療育:○理学療法○作業療法○言語聴覚療法○心理士による発達支援			

川崎市

事業名	新本庁舎整備事業		事業年度(期間)	—
施設名	川崎市本庁舎		開設年月日	令和5年6月
敷地面積	6,002.11 m ²		建築面積	4,357.79 m ²
			延床面積	62,356.11 m ²
規模・構造	階数: 地下2階、地上25階 建築物の高さ: 111.62m 構造: 鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造			
総事業費(千円)	※概算金額 44,000,000			
	うち、建設費		—	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	—	
		地方債	—	
		その他	—	
	一般財源		—	
設置目的	<p>本市の旧本庁舎と第2庁舎は、施設・設備の老朽化が進んでいるだけでなく、災害対策活動の中核拠点に必要とされる耐震性能を満たしていないため、大規模地震が発生した際には行政機能及び議会機能を喪失し、市民・企業の生活再建・復興が遅れる可能性があり、特に旧本庁舎は倒壊の危険性があるなど、多大なリスクを抱えていた。</p> <p>また、床面積の不足などから、本庁機能が分庁舎や周辺の民間ビルに分散しており、行政サービスの低下や庁内執行体制の非効率化が生じているだけでなく、多額の賃借料負担も生じていた。</p> <p>こうしたことから、平成26年3月に「川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想」を策定し、現庁舎敷地で建て替えることを決定した。</p>			
施設概要	<p>地下1・2階 駐車場 1～3階 アトリウム、情報プラザ、カフェ・コンビニ、共用会議室、行政機能 4・5階 機会室 機械室 6～21階 行政機能 22～24階 議場、議会機能、傍聴ロビー 25階 スカイデッキ、展望ロビー 屋上</p>			

横浜市

事業名	消防本部庁舎等整備事業		事業年度(期間)	平成27年度～令和6年度
施設名	消防本部庁舎 (本館・倉庫棟・別館)		開設年月日	令和5年10月10日 ※別館は7年2月運用開始(予定)
敷地面積	3,247.18 m ²		建築面積	2,367.18 m ²
			延床面積	14,847.33 m ²
規模・構造	<ul style="list-style-type: none"> ・本館(新築棟):地下1階/地上7階/塔屋2階(高さ約31m) 1階柱頭部中間層免震構造 ・倉庫棟(別棟):地上3階(高さ約15m) 耐震構造 ・別館(既存棟):地上5階/塔屋1階(高さ約24m) 耐震構造 			
総事業費(千円)	— (令和 年度～令和 年度)			
	うち、建設費			
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金		
		地方債		
		その他		
	一般財源			
設置目的	通常災害はもとより、大地震をはじめとする様々な大規模災害に備え、消防防災活動の中核となる消防本部の機能強化を図るため。			
施設概要	<p>消防本部庁舎は、本館、倉庫棟及び別館の3棟で構成されている。</p> <p>本館は、消防局各部の執務室のほか、消防司令センターや消防本部運営室、ヘリパッド(飛行場外離着陸場)等を備えた消防本部の中核となる施設。</p> <p>倉庫棟は、特別高度救助部隊の車両や資機材等を保管する施設、別館は、緊急消防援助隊等を受け入れる諸室や特別高度救助部隊の執務室等として活用する施設。</p>			

相模原市

事業名	津久井消防署整備事業		事業年度(期間)	令和元年度～令和5年度
施設名	津久井消防署		開設年月日	令和6年2月5日
敷地面積	3269.16 m ²		建築面積	1021.52 m ²
			延床面積	2866.38 m ²
規模・構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(4階建て)、鉄筋コンクリート造			
総事業費(千円)	1,813,359		(令和元年度～令和5年度)	
	うち、建設費		1,750,949	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	1,344,100	
		その他	0	
	一般財源		469,259	
設置目的	<p>津久井消防署(昭和48年4月開署)については、開署から48年が経過し、施設の老朽化が顕著になっていること、施設が狭小で女性職員用諸室等を十分に確保できないこと、国道412号のカーブの途中に施設があり、消防車両の発着時に見通しが悪いこと等が課題となっていた。</p> <p>本事業は、こうした課題に対応するとともに、災害等に迅速かつ的確に対応できるようにするため、管轄地域の中央付近に移転用地を取得し、整備することを目的とした。</p>			
施設概要	<p>自然採光、太陽光発電設備、地元産材の利用、防火水槽(100リットル)、自家用給油取扱所(20キロリットル)、非常用発電機(96時間対応)、災害用トイレ、訓練用模擬家屋(放水訓練可能)</p>			

新潟市

事業名	新潟駅周辺整備事業		事業年度(期間)	平成18年度～
施設名	新潟駅バスターミナル		開設年月日	令和6年3月31日
敷地面積	10,000 m ²		建築面積	— m ²
			延床面積	10,000 m ²
規模・構造	路線バス乗降場整備 ・乗り場13バース、降車場5バース相当 ・デジタルサイネージ24基			
総事業費(千円)	— (令和 年度～令和 年度)			
	うち、建設費			
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金		
		地方債		
		その他		
	一般財源			
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点としての機能強化(鉄道とバスの乗り換えがスピーディに) ・快適なバス待ち空間の整備 ・駅南北を縦貫する路線運行による、新たな公共交通軸の創出 			
施設概要	<p>・新潟駅周辺整備事業は、新潟駅を中心とした約2.5km区間について連続立体事業により在来線の高架化を行い、鉄道を挟んだ南北市街地一体化を図り、自動車や歩行者の安全かつ円滑な交通を確保するとともに、駅前広場を従来の約2倍に拡張整備を行い、賑わい空間の創出を図るもの。</p> <p>・新潟駅バスターミナルは、連続立体事業により生まれた駅高架下空間と、JRの用地を取得して拡張した駅前広場用地の一部、既存のバスターミナルを一体的に整備し、上記「設置目的」を実現するもの。</p> <p>・このことから、調書の総事業費については、バスターミナル相当分を合理的に分解することが難しいことから、記載はできない。</p>			

静岡市

事業名	—		事業年度(期間)	令和2年度～令和4年度
施設名	静岡市歴史博物館		開設年月日	令和4年7月
敷地面積	4,990.51 m ²		建築面積	2,284.96 m ²
			延床面積	4,885.86 m ²
規模・構造	鉄骨コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階			
総事業費(千円)	5,982,505		(令和5年度)	
	うち、建設費		4,460,521	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	1,589,263	
		地方債	3,138,800	
		その他	0	
	一般財源		1,254,442	
設置目的	地域の歴史に関する資料の収集、展示を行うとともに、歴史に関する調査研究及び地域の歴史的価値の発信を行うことにより、教育、学術及び文化の発展並びに歴史を媒介とした交流の促進に資することを目的とする。			
施設概要	<p>1階 歴史体感展示、市民活動エリア、学習支援エリア講座室、家康公研究室、館長室、事務室・学芸員室、ボランティア・休憩室、トラックヤード、資料整理室、燻蒸室、機械室</p> <p>2階 基本展示室、機械室</p> <p>3階 基本・企画展示室、展望ラウンジ、機械室</p> <p>4階 一般収蔵庫、特別収蔵庫、機械室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢21世紀美術館やフランスのルーブル美術館ランス別館などを手掛けたSANAA事務所による設計 ・漆喰調塗装とアルミエキスパンドメタルの外装、1階外周のガラスと木製建具など、歴史的景観と街に開かれた博物館を印象させる外観デザイン ・基本展示のテーマは「家康に会いにゆく」、家康の生涯と駿府で展開された政治と外交などを紹介 ・1階では戦国時代末期の「道と石垣の遺構」を発掘当時のまま展示 <p>http://www.youtube.com/watch?v=k6AqLy18HrU</p>			

浜松市

事業名	新清掃工場及び新破碎処理センター整備運営事業		事業年度(期間)	平成29年度～令和5年度
施設名	天竜清掃工場(天竜エコテラス)		開設年月日	令和6年4月1日
敷地面積	434,952.26 m ²		建築面積	13,489.68 m ²
			延床面積	28,297.31 m ²
規模・構造	工場棟 地上7階建て RC・SRC・S造			
総事業費(千円)	94,187,451		(平成30年度～令和5年度)	
	うち、建設費		50,771,903	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	15,456,434	
		地方債	13,457,200	
		その他	13,746,521	
	一般財源		51,527,296	
設置目的	一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、老朽化が進む市内処理施設(南部清掃工場及び平和破碎処理センター)の代替施設として、新しいごみ処理施設を一体的に整備する。			
施設概要	<p>溶融(焼却)処理施設及び破碎処理・選別施設の合棟</p> <p>○溶融(焼却)処理施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理能力 399t/日(199.5t/日×2系列) ・処理方式 シャフト炉式ガス化溶融方式 ・発電能力 15,120kW(蒸気タービン発電機) + 100kW(太陽光発電) <p>○破碎・選別施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理能力 64t/日(破碎設備 38t/日・選別設備26t/日) ・処理方式 破碎(もえないごみ及び粗大ごみ) <p>選別(プラスチック製容器包装)</p> <p>保管(びん類、小型家電、特定品目、自転車、マットレス)</p>			

名古屋市

事業名	若宮高等特別支援学校の新設	事業年度(期間)	令和2年度～令和5年度
施設名	若宮高等特別支援学校	開設年月日	令和6年4月1日
敷地面積	32,526.48 m ²	建築面積	5,211.29 m ²
		延床面積	12,394.92 m ²
規模・構造	既存降車(若宮商業高等学校と共用):地上4階・3階 鉄筋コンクリート 増築降車(食品実習棟):地上1階 鉄骨造		
総事業費(千円)	1,136,254		(令和2年度～令和5年度)
	うち、建設費		880,552
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	187,548
		地方債	444,000
		その他	61,278
	一般財源		443,428
設置目的	特別支援学校高等部の生徒数の増加や、企業等への就労をめざす職業教育のニーズの高まりに対応するため、若宮商業高等学校の既存校舎改修や増築工事により若宮高等特別支援学校を設置		
施設概要	<p>既存校舎面積:2,760.54m² (若宮高等特支の保有面積。共用部は若宮商高と面積按分している。) 食品実習棟:291.6m² エレベーター棟:47.52m²(令和6年9月～) (上記の敷地面積・建築面積・延床面積は若宮高等特支・若宮商高の合計面積)</p> <p><既設校舎> 普通教室15室、校長室、職員室 ストア実習室、クリーン実習室、ファクトリー実習室 等</p> <p><食品実習棟> フード実習室、ホーム実習室、進路指導室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増築した食品実習棟にカフェを整備し、将来的には生徒が運営する予定 ・カフェを中心に両校が連携・交流できるような交流スペースを設置 ・既存校舎は両校で棟を分けず、一体的に使用できるよう整備 ・外付けエレベーターにてバリアフリー化(令和6年9月～) 		

京都市

事業名	京都市立芸術大学 移転整備事業		事業年度(期間)	令和2年度～令和5年度
施設名	京都市立芸術大学		開設年月日	令和5年10月1日
敷地面積	30407.6 m ²		建築面積	17795.99 m ²
			延床面積	64903.7 m ²
規模・構造	A地区:地上3階 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 B地区:地上5階 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 C地区:地上7階、地下1階 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(基礎免震)			
総事業費(千円)	約27,127,000		(令和2年度～令和5年度)	
	うち、建設費		—	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	約19,000	
		地方債	約22,706,000	
		その他	約1,972,000	
	一般財源		約2,431,000	
設置目的	<p>京都市立芸術大学は、明治13年に日本初の絵画専門学校として創設された「京都府画学校」を起源とし、建学以来140年以上にわたり、国内外の芸術界や産業界で活躍する人々を輩出するなど、文化芸術の発展に貢献している。</p> <p>施設の狭あい化や耐震不足等の解消を図るとともに、芸術大学として一層の飛躍を目指すため、キャンパスの移転整備を行った。</p>			
施設概要	<p>【学部等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術学部(美術科、デザイン科、工芸科、総合芸術学科) ・音楽学部(音楽学科) ・大学院美術研究科 ・大学院音楽研究科 <p>【主な施設】</p> <p>音楽ホール兼講堂、ギャラリー、図書館、芸術資料館等</p>			

大阪市

事業名	天保山客船ターミナル整備等 PFI事業		事業年度(期間)	令和元年度～令和34年度
施設名	天保山客船ターミナル		開設年月日	令和6年5月1日
敷地面積	4,512.28 m ²		建築面積	2,702.74 m ²
			延床面積	5,785.43 m ²
規模・構造	地上3階建(鉄骨造)			
総事業費(千円)	3,817,944		(令和元年度～令和34年度)	
	うち、建設費		2,574,403	
財源内訳(千円)	特定財源	国府支出金	1,169,886	
		地方債	1,404,000	
		その他	10,000	
	一般財源		1,234,058	
設置目的	<p>昭和44年に建設された貨物上屋を改修して客船ターミナルとして運用してきたが、施設の老朽化とユニバーサルデザインへの対応や施設狭隘なためクルーズ客船の大型化に伴う旅客増への対応が困難となることから、ターミナルの再整備が急務となっていた。</p> <p>また、クルーズ客船母港化を目指した取組みの一つでもある。</p>			
施設概要	<p>所在地: 大阪市港区築港三丁目11-8</p> <p>内容・内部施設:</p> <p>1階: エントランスホール、倉庫、配管スペース 等</p> <p>2階: オープン(OA)フロア、事務室(2部屋) 等</p> <p>3階: オープン(OA)フロア、事務室等(4部屋)、倉庫 等</p> <p>その他: エレベーター・エスカレーター(各2基) 等</p> <p>開館時間: クルーズ客船寄港及び前記以外の施設使用承認時</p> <p>施設のホームページアドレス: https://www.city.osaka.lg.jp/port/page/0000347959.html</p>			

堺市

事業名	鉄炮鍛冶屋敷整備事業		事業年度(期間)	平成29年度～令和5年度
施設名	堺市立町家歴史館 井上関右衛門家住宅 (鉄炮鍛冶屋敷)		開設年月日	令和6年3月3日
敷地面積	956.74 m ²		建築面積	509.06 m ²
			延床面積	712.63 m ²
規模・構造	主 屋: 桁行18.34m 梁間15.735m 建築面積337.07m ² (座敷棟共)、木造 座敷棟: 桁行10.82m 梁間12.64m 建築面積337.07m ² (主屋共)、木造 道具蔵: 桁行 9.85m 梁間 3.94m 建築面積39.04m ² 、木造 俵 倉: 桁行 4.9m 梁間 4.925m 建築面積29.99m ² 、木造 附属棟: 桁行 8.16m 梁間 5.94m 建築面積45.03m ² 、木造 塀 : 桁行 7.95m 梁間12.64m 建築面積3.77m ² 、掛塀造 鍛冶場: 桁行 6.12m 梁間 8.85m 建築面積54.16m ² 、木造			
総事業費(千円)	636,196		(平成29年度～令和5年度)	
	うち、建設費		449,890	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	324,743	
		地方債	271,200	
		その他	15,251	
	一般財源		25,002	
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が所有する文化財の指定等を受けた歴史的建造物の保護及び保存並びにその活用を図るとともに、市民の郷土への理解を深め、文化の向上と交流を図る。 ・まち歩き観光の交流拠点として来訪者が、江戸時代の堺の人びとの歴史・文化・なりわいの様子を見て取り、さらにそれらを介して地域の人々とも交流する場とする。 ・郷土愛と町並み保全意識の醸成と共に、旧市街地への集客機能の向上、回遊性のある観光の拠点として、さらには伝統産業をはじめとした特色ある賑わいの創出をめざす。 			
施設概要	全国で唯一残る江戸時代の鉄炮鍛冶の作業場兼住居。鉄炮を組み立てる「仕上げ場」、商談を行う「みせの間」、鉄を鍛えて銃身をつくる「鍛冶場」等の空間から成る。 敷地内には、主屋・座敷棟のほか道具蔵、俵倉等がある。 鉄炮ビジネスを物語る実物資料の展示や「みせの間」、「鍛冶場」等の再現展示、鍛冶コンテンツ等をとおして「本物のものづくり空間」が体感できる。			

神戸市

事業名	名谷駅ビル北館 (tete名谷 北ゾーン)の整備		事業年度(期間)	令和3年度～令和5年度
施設名	名谷駅ビル北館 (tete名谷 北ゾーン)		開設年月日	令和5年6月30日
敷地面積	975.55 m ²		建築面積	781.14 m ²
			延床面積	2,268.08 m ²
規模・構造	鉄骨造			
総事業費(千円)	1,496,611		(令和3年度～令和5年度)	
	うち、建設費		1,345,872	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	1,496,611	
		その他	0	
	一般財源		0	
設置目的	<p>「リノベーション・神戸」の一環として、名谷駅ビルのリニューアルにあわせ、駅北側の隣接するスペースに新たな施設(北ゾーン)を整備し、テナント再編等による魅力的な利便施設(「tete名谷」)の拡充に取り組む。</p>			
施設概要	<p>職住近接オフィス、個別指導塾、カフェをはじめとしたテナントが入居し、駅ビルという利便性の高い立地でありながらも、「ゆったりと落ち着いた環境で、働く・学ぶ・交流する」のコンセプトのもと空間を提供している。</p> <p>3階に入居する職住近接オフィスでは、短時間勤務など、子育てや介護などと両立した働き方や、業務を通じIT技術を習得したい方を対象にIT人材育成を行うなど、地域の方のライフステージ・キャリアプランに合った“はたらく”を応援する施設となっており、またコミュニティエリアでは、“はたらく”を体験する場としてワークショップやイベントなども開催し、地域の方とのふれあいの場も提供している。</p>			

岡山市

事業名	子育て環境の施設整備推進事業	事業年度(期間)	令和3年度～令和5年度
施設名	岡山市浦安芳泉認定こども園	開設年月日	令和6年4月1日
敷地面積	3,493 m ²	建築面積	1,176.06 m ²
		延床面積	2,055.16 m ²
規模・構造	鉄骨造二階建て		
総事業費(千円)	1,129,910		(令和3年度～令和5年度)
	うち、建設費		837,232
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	0
		地方債	1,011,600
		その他	0
	一般財源		118,310
設置目的	幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図る		
施設概要	<p>【特色】 幼稚園の機能と保育所の機能の両方の機能をあわせもち、地域の子育て家庭の支援、地域との交流の機会や小学校との連携などの機能も果たす単一の幼児教育・保育施設。</p> <p>【概要】 乳児室 1室 保育室 12室(多目的室、拠点室含む) 遊戯室 1室 職員室 1室 給食室 1室 休憩室 1室 教育・保育を一体的に提供する施設</p>		

広島市

事業名	豪雨災害伝承館の整備事業		事業年度(期間)	令和3年度～令和5年度
施設名	広島市豪雨災害伝承館		開設年月日	令和5年9月1日
敷地面積	(公園内へ設置)		建築面積	約311 m ²
			延床面積	約498 m ²
規模・構造	地上2階 鉄筋コンクリート造			
総事業費(千円)	約400,000		(令和3年度～令和5年度)	
	うち、建設費		約288,000	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	約145,000	
		地方債	約213,000	
		その他	0	
	一般財源		約42,000	
設置目的	平成26年8月豪雨による災害を始めとする自然災害から得られた教訓及び知識を伝承し、防災又は減災に関する学習の機会を提供することにより、市民の防災意識の高揚、地域における防災活動の促進等防災まちづくりの推進を図ることを目的とする。			
施設概要	<p>被災者自らが施設運営を担うことを決意して一般社団法人を設立し、指定管理者として施設運営している。</p> <p>展示エリアでは、同時多発的に発生した土石流、急激な速さで迫りくる土石流を再現したCG映像や被災者インタビューをはじめ、被害の全容等のパネルを見学することができる。</p> <p>また、最大120名の収容可能な研修室を備えており、様々な防災学習メニューの選択が可能である。</p> <p>野外では、かまどベンチを活用した炊き出し訓練などの体験学習ができる。</p> <p>1階:研修室 2階:展示スペース、事務室</p>			

北九州市

事業名	折尾地区総合整備事業	事業年度(期間)	平成16年度～令和10年度 (※折尾地区総合整備事業の事業期間)
施設名	折尾駅北側駅前広場	開設年月日	令和5年6月1日
敷地面積	9,800 m ²	建築面積	— m ²
		延床面積	— m ²
規模・構造	駅前広場:9,800m ²		
総事業費(千円)	3,200,000		平成16年度～令和5年度 (※折尾駅北側駅前広場の事業期間)
	うち、建設費	600,000	
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	1,600,000
		地方債	1,440,000
		その他	1,320
	一般財源	158,680	
設置目的	<p>北九州市折尾地区では、折尾駅を中心とした既成市街地を、学園都市や学術研究都市の玄関口にふさわしい地域拠点として再構築するため、連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業を一体的に実施する「折尾地区総合整備事業」を進めている。</p> <p>折尾駅北側駅前広場は、交通結節機能の向上(乗り換え等のスムーズ化)や駅前を魅力的で賑わいのある地域拠点とするため、整備した。</p>		
施設概要	<p>(1)規模面積:9,800m²</p> <p>(2)「交通機能」と「交流・シンボル機能」の二つの機能をもった駅前広場</p> <p>(3)一般車乗降場、一般車駐車場、タクシー乗降場、タクシープールを配置 (バスはR7年度完成予定の折尾駅南側駅前広場に配置予定)</p> <p>(4)イベントを通じたまちの活性化のため、学生や近隣住民が憩える場として2つのイベント広場(学園大通り広場、駅舎前広場)を整備し、各広場には、休憩できるウッドデッキやサークルベンチを配置</p> <p>また、イベント時等に使用できる散水栓や電源ボックスを配置</p> <p>(5)折尾駅周辺は、JRやバスの利用者に加え、駅周辺の商店等の買物客や近隣の学校に通う学生など、多くの人々が集まることから、市民の利便性や公衆衛生の向上のため、広場の一角に新しい市民トイレを配置</p> <p>(6)日本初の鉄道立体交差跡を後世に残すため、筑豊本線が走っていた位置にレールのモニュメントを設置</p> <p>連続立体交差事業により解体された旧ホームの支柱を照明灯として再利用</p>		

熊本市

事業名	地域コミュニティセンター 建設事業	事業年度(期間)	令和4年度
施設名	大江地域コミュニティセンター	開設年月日	令和5年4月1日
敷地面積	527.24 m ²	建築面積	249.94 m ²
		延床面積	249.94 m ²
規模・構造	平屋・木造造り		
総事業費(千円)	95,087		(令和4年度)
	うち、建設費		92,565
財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	0
		地方債	0
		その他	0
	一般財源		95,087
設置目的	地域の自主的、主体的なまちづくり活動を推進することにより、地域社会のふれあいと連携を深め、市民の福祉向上を目的として設置する		
施設概要	(施設内容) 多目的ホール 70.39m ² 会議室(大) 40.37m ² 会議室(小) 19.02m ² キッチン 14.66m ² (開館時間) 午前9時～午後10時 (休館日等) 日曜日・祝日・年末年始		